（第二號）（昭和十八年八月廿四日）（火曜日）　臺灣日日新報　第一萬五千六百十七號　（一）

臺灣日日新報

本日夕刊共六頁

海鷲編隊ベ島攻撃
敵船五隻撃沈破
卅機と交戰、十四機撃墜

【南太平洋方面○○基地二十三日發同盟】二十一日の早朝わが海鷲部隊は戰爆連合の編隊をもつてベラベラ島ピロアの米軍陣地に猛攻撃を加へた、即ち同日午前午後の二回に亙り爆撃部隊が敵陣地上空に殺到、約三十機の敵戰闘機と交戰、抵抗を排除して輸送船團に必中彈を浴びせ中型輸送船一隻、同じく小型一隻を大破炎上せしめ、陸上施設三箇所に火災を生ぜしめ戰闘機十四機を撃墜した

小癪・上陸企圖を撃退
敵船二隻を撃沈

【南太平洋方面○○基地二十三日發同盟】執拗なる反撃を企圖する敵米軍は小癪にも二十二日早朝コロンバラ島のわが陣地附近に上陸舟艇、魚雷艇約十五隻をもつて上陸を企圖し來つたが、わが陸上部隊はこれと交戰、敵船二隻を撃沈した、これを見た敵上陸部隊は强行上陸を斷念して逃走した

マイコールで六機屠る
敵戰闘機二十四機を撃墜

【南太平洋方面○○基地二十三日發同盟】二十一日午後アラグ島のアル諸島マイコールに敵双發戰闘機六機が來襲したが、わが地上部隊はこれに猛烈なる砲火を浴びせると共に海鷲部隊は空戰を挑みその四機を撃墜、二機を撃破してこれを撃退した

魂魄部隊と米軍戰ふ
實に不思議と谷萩少將

【ポートモレスビー二十二日發同盟】ニューギニア戰線の最高指揮官谷萩那華雄少將は二十一日ポートモレスビーに於ける記者團會見に於て語つた

共一――キスカ島に於ける敵軍部隊との比ではない激戰であつたが、その經驗は如何

谷萩――キスカ島の敵軍は物量を誇つてゐたが、ニューギニアの敵軍は物量を誇つてゐるばかりでなく、その上に熱帶特有の惡條件と闘はねばならぬ點に於て、キスカ島の敵軍とは比較にならぬ强敵である、然し我が將兵は實に不思議な魂魄部隊であつて、如何なる困難に遭遇しても必ず之を克服して行く、この點は實に驚くべきものがある

共二――ニューギニアの戰況は如何

谷萩――ニューギニアの戰況は我が方に有利に進展してゐる、即ち我が方は敵の重要基地ラエ、サラモアを完全に包圍し、ラエ、サラモアの敵軍は我が方の攻撃に依つて殆んど潰滅狀態にあり

「米英撃滅の斃人」
林業戦士意氣凛烈

木炭の代燃普及
漁船への使用本格化す

獨伊の國債消化
對策

連續死闘實に一年餘
傷病七勇士キスカを回顧

萬難排し施設改善
中平局長、京都視察談

理令与弁物具體策
震災會委員會成案を上申

堂々建設第一年
チモール島の現狀

本島くは三百萬圓
普選地方資金融通

造船工業材工等の
資金制度確立さる

お願ひです
節約節約して
大切にお使ひ下さい

新大陽

米の對日政策を作戦を衛く

九日の號

貯蓄は銀行の第一

連續死鬪實に一年餘

傷病七勇士キスカを回顧

○山下兵団司令官、参謀長、参謀副長も

第三年に入り一般戰況に深つた○のであるから我國の人心に於ても戰爭の本質を認識する事極めて切實となり、戰爭に對する覺悟も愈々固まつて來たやうに思はれる、即ち國民の戰爭に對する關心は從來の如く單に戰況の發展如何といふ點にのみ集中されるといふ傾向は漸次薄らぎ、戰爭は國民生活の一切の面に深く滲透し、國民總てが戰爭の一部門を分擔してゐるといふ事實を自覺し、戰爭完遂のために各自の職域に於て最善を盡すといふ氣持が一般に強くなつて來たやうに思はれる、從つて戰爭に對する關心の方向も

決戦へ、斯の錬磨!!

皇軍精神を把握

中等學校教員一週間入營

【南部特電】陸軍では中等學校教員に對する軍事教練の徹底による皇軍精神の把握並に軍事教練の實施に關する研究に資するため、中等學校の教員（女子中等學校三千名、各府縣二十名）二千人を召集、第四回教員に二週間入營せしめ、軍人精神の把握並に軍事教練の實施に關する研究をなさしめることとなつた、入營は七月二十一日から八月三日まで十三日間を一期とし、二期に分ち、第一期は七月二十一日から八月三日まで、第二期は八月四日から十六日までとし、第一期は七月十九日、第二期は八月二日までに各聯隊區司令部に集合すべく、入營者は各學校長の推薦に基き、各府縣學務部長において決定、通知することになつた、なほ入營者は入營に際し、軍服、軍靴の三點を持參し、軍隊生活を體驗するほか、教練の實施に關する研究會に參加するものである【陸軍省發表】

銳し！必殺の氣合

嘉義郷軍

【嘉義】嘉義郷軍は若人の血潮湧き、分秒を惜む猛訓練を續けてゐるが、去る二十二日から九日間、時から時迄、郷内山子頭陣地において全郷軍將兵大會を開催することとなり、二日より入營者續出、最大の盛り

△個人の部（射撃）1西分中、2東分中
△團體の部 1西分中、2東分中

△個人の部（銃劍術）1東分中、2西分中
△團體の部 1東分中、2西分中

△個人の部（銃劍術）1西分中、2東分中
△團體の部 1東分中、2西分中

短期で單獨操縱

自動車と取つ組む

臺中學

【臺中】臺中飛行場では生徒に對する航空思想の普及と航空機の能力を體驗せしめ將來航空界の戰士たる素質を養成するため、去る十八日より二週間の豫定で、千代田中學の教練で、自動車運轉に關する講習會を開催、第一回の生徒四十名は二日目の今日、初めて自動車を運轉して飛行場を疾走した、なほ第二回は八月一日から十四日まで實施される【臺中電】

「教へ子に負けられぬ」心身を練る女先生

花蓮港

【花蓮港】花蓮港廳では、廳下の國民學校女教員に對し、體力の向上と精神の鍛錬を目的として、去る十日から十四日まで五日間、花蓮港神社境内の國民道場において、女教員錬成會を開催した、參加者は廳下各國民學校から選ばれた女教員二十名で、いずれも二十歳から三十歳までの若い女教員ばかりであるが、いずれも教へ子に負けまいと、心身を練る猛訓練に、連日汗みどろになつて勵んでゐる、なほ講師は廳下各國民學校の教師が當つてゐる【花蓮港電】

最後に耐熱强行軍

職員錬成成果擧る

【桃園】桃園郡教育會では、去る十八日から二日間の豫定で、主として青年學校職員を對象として、桃園郡青年學校職員錬成會を開催したが、參加者は郡下各青年學校から選ばれた職員百名で、講師は郡内の各學校長、青年學校長、青年團長等が當つた、錬成會は十八日午前八時から開會式を擧げ、直ちに校庭において、郡内各青年學校對抗の分列行進を行ひ、ついで西郷部隊の指導により、銃劍術、體操、手旗信號、防空訓練、救護訓練、行軍等を行ひ、二日目の十九日午後四時から閉會式を擧げて解散したが、參加者は何れも日頃の訓練の成果を遺憾なく發揮して、いづれも元氣一杯であつた【桃園電】

鐵道戰士の

勞苦を汗で體驗

花中、機甲班の猛錬成

【花蓮港】花蓮港廳では、廳下の國民學校高等科生徒に對する勤勞觀念の涵養と、勤勞の尊さを體驗せしめるため、去る十日から四日間、三班に分けて、廳下各國民學校高等科生徒を花蓮港驛に集合せしめ、花蓮港驛から花蓮港機甲班まで、約二粁の道程を、機關車の運轉、機關車の構造、機關車の修理、運轉取扱等の實習をなさしめながら、機甲班まで行軍せしめ、機甲班では、各生徒に對し、それぞれ實習を行ひ、午後四時から閉會式を擧げて解散したが、參加者は何れも日頃の訓練の成果を遺憾なく發揮して、いづれも元氣一杯であつた【花蓮港電】

設備を誇る夏

生嘉義醫院

竣工式を擧行

【嘉義】昭和十六年度の大東亞戰爭勃發以來、戰時下醫療施設の擴充に關する要望が各方面から高まつてゐるが、嘉義州下においても、嘉義市内に於ける醫療施設の擴充に關する要望が各方面から高まつてゐるが

(夕刊)(第二種)(月曜日休刊)(昭和十八年八月九日第三種郵便物認可)　昭和十八年八月二十四日(火曜日)　第一万五千六百七十七號

臺灣日日新報

一八月二十二日 午後六時發行 臺北市 臺灣日日新報社 臺北市 臺灣日日新報社 臺北市 臺灣日日新報社 臺北市 臺灣日日新報社

我國の航空機工業

御進講を御聽取

鄕古潔氏を召され

【東京電】昨十二日午後二時十分天皇陛下には吹上御苑に於ける御學問所に出御あらせられ陸軍航空本部長鄕古潔氏を召され航空機工業の現況に關し御進講を奉聽あらせられた

天皇陛下には去る七日午後二時十分吹上御苑に於ける御學問所に出御あらせられ陸軍航空本部長鄕古潔氏を召され航空機工業の現況に關し御進講を奉聽あらせられたが引續き十二日午後二時十分吹上御苑に於ける御學問所に出御あらせられ陸軍航空本部長鄕古潔氏を召され航空機工業の現況に關し御進講を奉聽あらせられた

【東京電】昨十二日午後二時十分天皇陛下には吹上御苑に於ける御學問所に出御あらせられ陸軍航空本部長鄕古潔氏を召され航空機工業の現況に關し御進講を奉聽あらせられた

神速の撤收に唖然

キスカ島上陸の米軍

對日戰を積極化

英國側頻りに呼號

米英側、深刻な衝撃

リトビノフ大使の召還

寄合世帶の弱體振

米英加のケベック會談

獨の守勢作戰奏功

反樞軸軍戰力、組織的消耗

鐵路爭奪戰に移行

ハリコフ空前の消耗戰

老獪、米英の作戰

一石二鳥狙ふ對ソ方策

工業發展の基地へ

上海の更生 青木大東亞相談

國府の自覺に全力

青木大東亞相訓示

十六萬噸擊沈破

獨機ビゼルタ連續夜襲

油斷ならぬ
これからの小兒病！
一すした梅雨、暑氣時にも注意し
不潔不衛生、消化不良から發病の低下
を來さぬよう、早期のお手當が大切で
す
救急、治病、保健の綜合作用に
優れた良藥で、早期に治癒し、體氣を根
本的に强め、發育の促進を助けて下さい。
カンメン胃腸藥
胃腸弱く食ら白見
胃氣、食慾不振に
ヒラメ全身強壯に
丸藥
丸藥
丸藥

消耗に懲りず増援の敵米軍を叩き拔く

レンドバ空戰一ケ月の實相

一週間叩きに叩く

○○航空隊司令　ガルカナル島へ飛び、ルンガ飛行場基地のつぎの攻撃に当ることとなり、昨日その司令ミッチャーコンベンガラの基地を叩きに来たる、そしてファル飛行場の設備をもつてわがムンダと共にしばしば攻撃されつゝあるが、そ其後は大きな出来ず、これに對しわが航空隊は連日連夜ガダルカナル、ルンガ飛行場、ムンダ飛行場、ビラ飛行場、ムンダ基地へ、或は夜間爆撃を加へ、或は昼間爆撃を加へ、或は夜間爆撃を加へ、或は昼間爆撃を加へ、或は夜間爆撃を加へ、或は昼間爆撃を加